

教材活用シリーズ 第 156 回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

理科の授業づくりに役立つ！ 日本標準の『理科学習ノート』

(株)日本標準
『理科学習ノート』
(3～6 年／年刊)



(株)日本標準
企画編集部

1. はじめに

日本標準の『理科学習ノート』は、若い先生や理科が苦手な先生でも、理科の授業づくりで困らないようにさまざまな工夫が施されたノートです。また、児童の興味・関心を高め、理科の授業に前向きに取り組めるような紙面になっています。理科は実験や観察が多く、児童がそれぞれノートをかくのは難しい教科だと思えます。この『理科学習ノート』があれば、丁寧な実験方法や記録の仕方に沿って、決まったスペースにかき込めるため、どこに何をかく

かの指示も簡単に済みます。

2. 『理科学習ノート』の特長

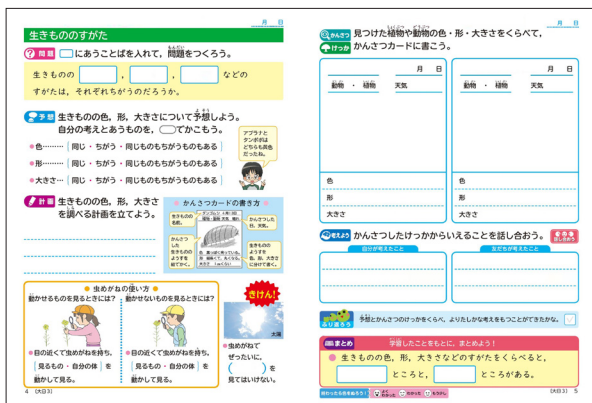
○巻頭、巻末の読み物ページ

3 年生なら「音」の学習につながるオリジナル楽器の紹介、5 年生なら天気を表す言葉の紹介といったように、各学年、理科の学習への意欲を喚起できるような内容になっています。授業の導入にも活用できます。また、3 年生の内容は、2 年生までの生活科からの移行という視点でも有効です。

○単元の見開き構成

各単元が 2～4 ページの見開き構成になっているため、学習の過程を把握することができます。全体をぼつと見ることができ、問題解決の流れを理解する一助にもなります。また、ほぼすべての見開きに写真やイラストが入るため、児童が意欲的に授業に取り組みると思います。

見開き構成は、ページの左右で比較するような内容でなければ使いやすくと感じることはありません。しかし、見開きになっていないと、ページをめくらなければ確認できないなど、使いにくいと感じることはあると思います。使っていて不便に感じない紙面構成は、大きな特長です。また、全学年で構成を統一しているため、児童は学年が上がっても慣れたノートで学習を続けることができます。



○自由に記述できる方眼ノートページ

理科の実験や観察の方法は、ひとつではありません。自由に記述できるページを設けることで、より多くの実験結果をかき込んだり、より多くの生き物を観察して記録したりすることができず。また、授業を進めるなかで児童が考えたこと、感じたことなどを自由にかくことができ、復習の際に記憶を呼び起こしやすくなるのでおすすめです。学年によってページ数は異なりますが、ぜひ活用していただきました。

○豊富なアイコン

学習場面などのアイコンによって、「今、何をやるのか」がわかりやすくなっています。写真やイラストが多く、児童の興味・関心を高める紙面構成も特長ですが、カラフルなアイコンも紙面を彩ります。児童がノートに親しみをもって、より意欲的に理科の授業に取り組んでもらえたら嬉しいです。



○充実の教師用書

教師用書には、赤刷りの答え以外にも、授業の導入からまとめまでの展開を簡単に記した「授業の展開例」と、指導のアドバイスや実験・観察の注意点を記した「指導のポイント」が全単元に入っています。どちらも授業を進める際の参考になると思います。

3. 『理科学習ノート』の使い方

『理科学習ノート』は授業で使う修得教材ですが、ほかにもさまざまな用途で使えるようになっていきます。ぜひ参考にしてみてください。

○学年の総復習に

単元が見開き構成になっていることに加え、単元の「問題」と「まとめ」が一目でわかりやすいカラーリングになっているため、学年のまとめ、内容や領域毎の振り返りなど、短時間で簡単に復習したいときに活用できます。

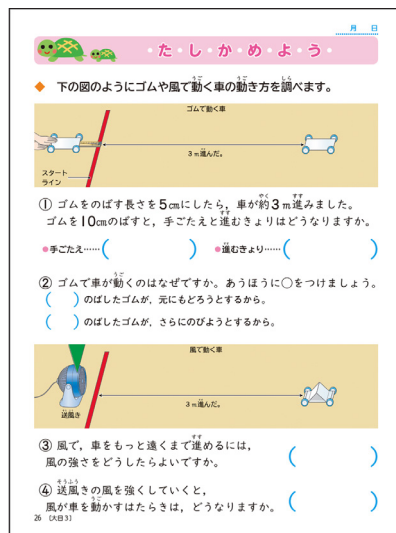
○ポートフォリオとして

観察や実験の欄が充実しているため、単元の学習内容をしっかり記録できます。そのため、一年間の学習が終われば、当該学年のポートフォリオとして使用することができます。時間が経てば経つほど学習したことの記憶は薄れていってしまいます。そんなときに『理科学習ノート』を開けば、学習したことや実験結果、観察記録の確認ができます。前述したように、短時間での復習が可能なので、学習内容がしっ

かり定着するまで、いつでも見返すことができますように保管しておくことをおすすめします。

○プレテストの代わりに

各単元の終わりでは、「たしかめよう」というページで簡単な問題を解くことができます。学習内容の定着におすすめです。単元の終わりに復習として使う以外に、テスト前の確認としても活用することもできます。いつ使うかは先生次第です。学級や児童の実態に合わせてご活用ください。



4. おわりに

日本標準の『理科学習ノート』は年々需要が増してきて、ご採用いただく先生が増えていきます。表紙にあるキヤッチコピーの「わかるのびる！ すきになる！」をより多くの児童が実感できるよう、日々さらなる改善に努めていきます。